

2018年3月期第2四半期 決算 説明資料

2017年11月8日



目次

_	_ \	
1	$=$ $^{\prime}$	
ı	-	
•	1	

I. 2018年3月期 第2四半期業績

- ·概要 (3) ~ (7)
- ・セグメント別実績
 - <機能製品> (8)
 - <化学製品> (9)
 - <樹脂製品> (10)
 - <建設関連・その他> (11)
- ·財政状態計算書 (12)
- ・キャッシュフロー (13)

Ⅱ.2018年3月期業績予想

- ·概要 (15) ~ (19)
- ・セグメント別予想
 - <機能製品> (20)
 - <化学製品> (21)
 - <樹脂製品> (22)
 - <建設関連・その他> (23)
- ・主要指標予想 (24)
- キャッシュフロー予想 (25)

III. 連結対象会社の概要 III. IIII. IIII. III. III.

I. 2018年3月期 第2四半期業績



(単位:億円)

				(早	似:熄円)			
	2017年 3月期 2Q	2018年 3月期 2Q	増減額(率)	2018年 3月期2Q 当初計画	増減額(率)			
売上収益	602	695	93 (15.4%)	660	35 (5.3%)			
営業利益	45	72	27 (60.7%)	50	22 (45.0%)			
税引前四半期利益	36	72	36 (101.3%)	50	22 (43.5%)			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	31	58	27 (88.8%)	40	18 (44.1%)			
1株当たり 四半期利益	円 ※ 177.61	円 325.46						
1株当たり 親会社所有者持分	円 ※ 6,799	円 7,257		16年10月1日(を10株から1株に				
親会社所有者 持分比率	% 50.7	% 60.0	め、 期o	で10株から1株に併合したた 、1株当たりの各種項目は前 間の期首に株式併合が行われ ものと仮定して、計算しており				
1株当たり 配当金	円 ※ 55.0	円 55.0	ます					
	2017年 3月末	2017年 9月末	差異					
資産合計	2,349	2,391	42					
親会社所有者持分	1,243	1,436	193					

<前年同期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品を中心に、すべてのセグメントが増収。

〔営業利益〕

機能製品、化学製品、樹脂製品等の増益により、増益。

〔税引前四半期利益〕

営業利益の増加により増益。

〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益の増加により増益。

<当初計画比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品と樹脂製品を中心に上ぶれ。

〔営業利益〕

化学製品と樹脂製品を中心に上ぶれ。

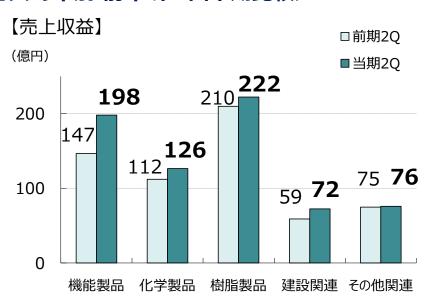
〔税引前四半期利益〕

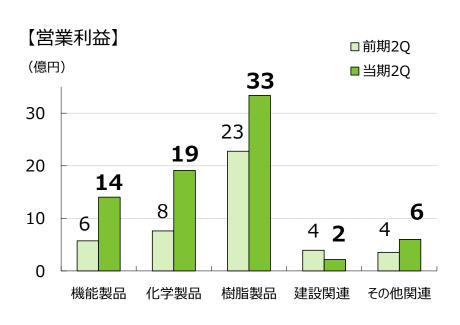
営業利益増で上ぶれ。

〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益増で上ぶれ。

〈セグメント別 前年 第2四半期比較〉





<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

〔機能製品〕 機能樹脂の増収、炭素製品の増収などにより、増益。

[化学製品] 医薬品が出荷減となるも、農薬の売上増加と工業薬品の採算改善により、合わせて増益。

(樹脂製品) 家庭用品、合成繊維、熱収縮多層フィルムの増収により、増益。

〔建設〕 建設事業が増収となるも、エンジニアリング事業が減収となり、合わせて減益。

〔その他〕 産業廃棄物処理の増加などにより、増益。



2018年3月期第2四半期決算の概要(3)

株式会社クレハ

2017年3月期 第2四半期 実績

(単位:億円)

							\ 1 I=	Z 1 1/0x1 3/
		セグメント						全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	147	112	210	59	75	602		602
調整							0	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							1	
営業利益	6	8	23	4	4	44	2	45
金融収益(+)				セグメン	/卜別営業和	J益計 」	3	
金融費用(-)							12	
税引前四半期利益								36
親会社四半期利益								31

…為替差損 9億円

2018年3月期 第2四半期 実績

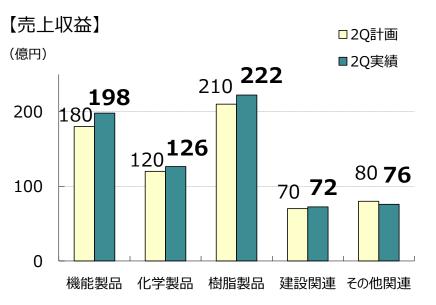
(単位:億円)

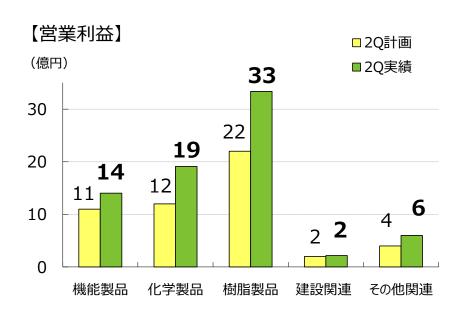
	1 1 743 24	174					\— I=	Z 1 1/0/1 3/
		セグメント						全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	198	126	222	72	76	695		695
調整							1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							5	
営業利益	14	19	33	2	6	75	-2	72
金融収益(+)				セグメン	小別営業 和	川益計 」	3	
金融費用(-)							4	
税引前四半期利益								72
親会社四半期利益								58

…環境対策引当金 4億円



<セグメント別 当初計画 第2四半期比較>





<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

〔機能製品〕 PGAが計画を下回ったものの、PPS、炭素繊維の売上増加により、上ぶれ。

(化学製品) 農薬の下期からの出荷前倒しなどから、上ぶれ。

〔樹脂製品〕 家庭用品、合成繊維の好調により、上ぶれ。

〔建設〕 売上、営業利益ともに、ほぼ計画どおり。

〔その他〕 運輸・倉庫、環境事業の売上が計画を下回るも、経費削減などにより、上ぶれ。 **KLIREHA**



2018年3月期 第2四半期 当初計画

(単位:億円)

20 0,1%						\	2 1 1/0/1 1/	
		セグメント						全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	180	120	210	70	80	660		660
調整							1	
その他の収益(+)							1	
その他の費用(-)							3	
営業利益	11	12	22	2	4	51	-1	50
金融収益(+)				セグメン	ント別営業和	リ益計 」	3	
金融費用(-)							3	
税引前四半期利益								50
親会社四半期利益								40

2018年3月期 第2四半期 実績

(単位:億円)

		セグメント						全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	198	126	222	72	76	695		695
調整							1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							5	
営業利益	14	19	33	2	6	75	-2	72
金融収益(+)				セグメン	ント別営業和	リ益計 」	3	
金融費用(-)							4	
税引前四半期利益								72
親会社四半期利益								58

…環境対策引当金 4億円



【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

			(- 1-1-2-	י ויטין
	2017年	2018年		
	3月期	3月期		
	2Q	2Q	増減((率)
機能樹脂	91	116	25	27%
炭素製品	22	26	4	19%
クレ八単体 計	112	141	29	26%
連結子会社	122	140	18	15%
連結売上消去	-88	-83	4	-
連結売上収益	147	198	51	35%
連結営業利益	6	14	8	145%

[当初計画:売上収益180億円 営業利益11億円]

<前年同期比> 増収·増益

機能樹脂

LiBバインダー用途向けPVDF、PPS樹脂、 シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGAは それぞれ売上が増加し、増収・増益。

炭素製品

炭素繊維・炭素材料ともに売上が増加し、 前期の営業損失から営業利益に。

<当初計画比> 売上 ↑ 営業利益 ↑

PGAは計画を下回ったものの、PPS、炭素製品が計画を上回ったことで、上ぶれ。



【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

			(半江	:恨円)
	2017年	2018年		
	3月期	3月期		
	2Q	2Q	増減((率)
農薬	19	40	21	115%
医薬品	32	22	-10	-32%
工業薬品	42	48	6	14%
クレハ単体 計	93	110	17	18%
連結子会社	32	30	-2	-6%
連結売上消去	-13	-14	-0	-
連結売上収益	112	126	14	13%
連結営業利益	8	19	11	151%

[当初計画:売上収益120億円 営業利益12億円]

<前年同期比> 増収·増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の出荷が増加し、 増収・増益。

医薬品

慢性腎不全用剤「クレメジン」等の出荷減少により、減収・減益。

工業薬品

無機・有機薬品ともに増収となり、増益。

農薬の下期からの出荷前倒しと、工業薬品の 採算改善が進んだことにより、上ぶれ。



【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

			(半江	:1息円)
	2017年	2018年		
	3月期	3月期		
	2Q	2Q	増減(率)
家庭用品	101	106	5	5%
業務用包材	36	32	-4	-11%
クレハ単体 計	137	137	1	0%
業務用包材(海外)	53	59	6	12%
合成繊維	18	22	4	20%
その他	34	35	1	3%
連結子会社 計	104	115	11	10%
連結売上消去	-31	-30	1	-
連結売上収益	210	222	12	6%
連結営業利益	23	33	11	46%

<前年同期比> 増収·増益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

熱収縮多層フィルムの売上が増加し、 増収・増益。

業務用包材は計画どおり、家庭用品と合成繊維が計画を上回り、上ぶれ。

[当初計画:売上収益210億円 営業利益22億円]



【建設・その他】 セグメント別 売上収益・営業利益

【建設関連】			(単位	: 億円)
	2017年	2018年		
	3月期	3月期		
	2Q	2Q	増減(率)
建設関連事業	96	104	8	8%
連結売上消去	-37	-32	6	-
連結売上収益	59	72	13	23%
連結営業利益	4	2	-2	-45%
	意円 営業	鯏益 2億円]	
【その他関連】				
環境事業	43	46	3	7%
運輸•倉庫事業	42	41	-1	-2%
病院事業	18	18	-0	-2%
その他	9	9	0	3%
連結子会社 計	113	115	2	2%
連結売上消去	-38	-39	-1	-
連結売上収益	75	76	1	1%
連結営業利益	4	6	2	69%
[当初計画:売上収益80億	意円 営業	利益 4億円]	

【建設関連】

<前年同期比> 増収·減益

建設事業の民間・公共工事は売上は増加したものの、利益は前年並み。エンジニアリング事業は減益となり、合わせて増収・減益。

<当初計画比> 売上 → 営業利益 →

売上、営業利益ともにほぼ計画どおり。

【その他関連】

<前年同期比> 売上横ばい・増益

環境事業は産業廃棄物処理等が増加し 増収・増益。

運輸・倉庫事業は売上が減少するもコスト 削減により増益。

病院事業は売上、営業利益ともに減少。

<当初計画比> 売上 ・ 営業利益 ↑

環境、運輸・倉庫事業の売上が計画を下回る も、経費削減などにより営業利益は上ぶれ。



財政状態計算書

1.	. ř	圣运	Eの	部
_	. 5	ᆚ	ヒソノ	יוםי

1. 気圧が即			
	2017年 3月末	2017年 9月末	増減
現金·現金同等物	62	58	-4
営業・その他債権	294	304	10
棚卸資産	365	364	-1
その他流動資産	32	24	-8
流動資産 計	753	750	-3
有形固定資産	1,159	1,156	-3
無形固定資産	14	13	-1
投資等	423	472	49
非流動資産 計	1,596	1,641	45
資産 合計	2,349	2,391	42

2	台 建	次十八立	
Z .	貝恨:	資本の部	

2. 負債・資本の部		(単位	:億円)	
	2017年 3月末		増減	
営業・その他債務	204	185	-19	
有利子負債	710	560	-150	*
引当金	61	62	1	
その他負債	114	131	17	
負債 計	1,089	938	-152	
資本金	125	163	38	*
資本剰余金	94	133	39	*
自己株式	-45	-7	38	*
利益剰余金	1,017	1,059	41	
その他の資本	51	88	36	
非支配株主持分	17	18	1	
資本 計	1,260	1,453	194	
負債·資本 合計	2,349	2,391	42	

[※] 転換社債について…2018年3月満期の転換社債を150億円発行していますが、2017年9月末現在で約75%の転換請求がありました。 一部自己株式からも払い出し、9月末の発行済み株式数(自己株式を含む)は19,932,440株となっています。

キャッシュフロー

	2017年	2018年	単位:億円)
	3月期	3月期	増減
	2Q	2Q	
税引前四半期利益	36	72	36
減価償却費および償却費	51	49	-2
その他	-6	-13	-7
営業キヤツシュフロー	80	108	27
投資キャッシュフロー	-56	-59	-2
投資キャッシュフロー 財務キャッシュフロー	-56 -31	-59 -53	-2 -21
			_
財務キャッシュフロー	-31	-53	-21
財務キャッシュフロー 現金及び現金同等物に係る換算差額	-31	-53	-21

株式会社クレハ

Ⅱ. 2018年3月期 業績予想



						(単位:億円)
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 予想	増減額(率)	2018年 3月期 当初計画	増減額(率)	2019年 3月期 中計最終年 計画 ※1
売上収益	1,323	1,450	127 (9.6%)	1,420	30 (2.1%)	1,600
営業利益	93	120	27 (29.6%)	110	10 (9.1%)	140
税引前利益	90	120	30 (33.6%)	110	10 (9.1%)	135
親会社利益	70	93	23 (32.8%)	84	9 (10.7%)	90
1株当たり	円	円				※1···2016年 5月12日
親会社利益 親会社所有者持分	407.38 7,233	493.25 7,284				公表値
中間配当金 期末配当金	5.5 55.0	^{*2} 55.0 55.0				

※2…2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品と樹脂製品を中心に増加し、増収。

〔営業利益〕

建設関連とその他関連が減益となるものの、機能製品が大きく伸長し、増益。

〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

<当初計画比での主な差異要因>

〔売上収益〕

樹脂製品を中心に上ぶれ。

〔営業利益〕

PGAの計画未達により機能製品が下ぶれするも、 樹脂製品と化学製品が上ぶれし経費削減を含め、 合わせて上ぶれ。

〔税引前利益〕

営業利益の増加により上ぶれ。

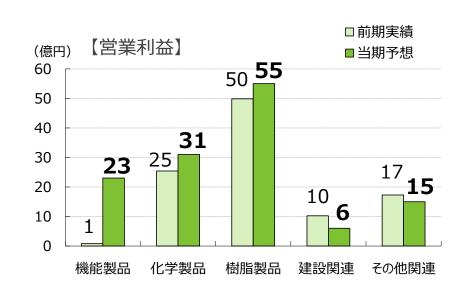
〔親会社利益〕

税引前利益の増加により上ぶれ。



<セグメント別 前期比較>





<セグメント別 営業利益の主な変動ポイント>

〔機能製品〕 PPS、PVDF、炭素製品が伸長したことに加え、PGAが米国新会社での販売立ち上げに遅れは

あるものの増収により損失が縮小し、増益。

〔化学製品〕 医薬品は後発品の影響を受けたものの農薬の伸長と工業薬品の採算改善により、増益。

〔樹脂製品〕 家庭用品と合成繊維の伸長により、増益。

〔建設〕 売上は微増も、工賃・資材費等の上昇により、減益。

〔その他〕 環境事業における競争激化により、減益。



〈セグメント別 前期比較〉

2017年3月期 実績

(単位:億円)

						\	2 . 1001 37
		セグン	シト			調整	全社
機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
334	259	428	139	163	1,323		1,323
						1	
						14	
						26	
1	25	50	10	17	104	-11	93
			セグメン	/卜別営業利	川益計 」	6	
						9	
							90
							70
		334 259	機能 化学 樹脂 334 259 428	334 259 428 139 1 25 50 10	機能 化学 樹脂 建設 その他 334 259 428 139 163 1 25 50 10 17	機能 化学 樹脂 建設 その他 計 334 259 428 139 163 1,323	セグメント 調整 機能 化学 樹脂 建設 その他 計 334 259 428 139 163 1,323 1 14 26 1 25 50 10 17 104 -11 セグメント別営業利益計 」 6

…補助金収入 10億円

…事業撤退・構造改革 19億円 固定資産除却損 5億円

2018年3月期 修正予想 (11/8修正)

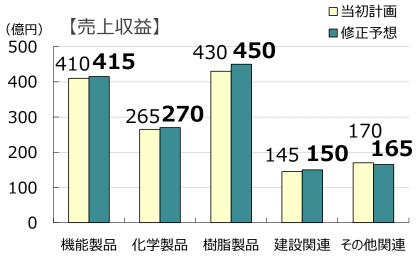
(単位:億円)

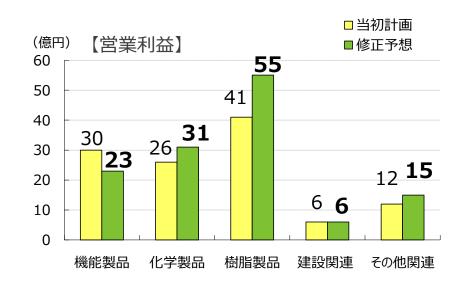
10 10/3/03 1911	5 70: (± ±	/ UIDIE/					\ - I-	2 1 1/0/1 3/
			セグン	シト			調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	415	270	450	150	165	1,450		1,450
調整							0	
その他の収益(+)							4	
その他の費用(-)							14	
営業利益	23	31	55	6	15	130	-10	120
金融収益(+)				セグメン	ント別営業和	リ益計 」	5	
金融費用(-)							5	
税引前利益								120
親会社利益				(1	L7)			93

…固定資産除却損 10億円 環境対策引当金 4億円



<セグメント別 当初計画比較>





<セグメント別 営業利益の主な変動ポイント>

〔機能製品〕 PPSや炭素繊維は好調も、PGA米国新会社での販売立ち上がりの遅れで、下ぶれ。

〔化学製品〕 円安による農薬の増益と工業薬品の採算改善により、上ぶれ。

【樹脂製品】 家庭用品と合成繊維の好調により、上ぶれ。

〔建設〕 計画どおり。

[その他] 運輸事業の売上は減少するも、産業廃棄物処理の増加と経費削減等により、上ぶれ。



<セグメント別 当初計画比較>

2018年3月期 当初計画

(単位:億円)

			セグン	ハト			調整	全社
							问筆	土仕
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	410	265	430	145	170	1,420	\setminus	1,420
調整							1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(–)							8	
営業利益	30	26	41	6	12	115	-5	110
金融収益(+)				セグメン	小別営業 和	リ益計 」	5	
金融費用(-)							5	
税引前利益								110
親会社利益								84

…固定資産除却損 8億円

2018年3月期 修正予想 (11/8修正)

(単位:億円)

	3 764 (II	/ UIDIL					(+1-	Z : 1/0/1 3/
			セグン	シト			調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	415	270	450	150	165	1,450		1,450
調整							0	
その他の収益(+)							4	
その他の費用(–)							14	
営業利益	23	31	55	6	15	130	-10	120
金融収益(+)				セグメン	/卜別営業和	川益計 」	5	
金融費用(-)							5	
税引前利益								120
親会社利益				(1	(0)			93

…固定資産除却損 10億円 環境対策引当金 4億円



(19)

【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

	2017年	2019年	(י ואטון י
	3月期 実績	3月期 予想	増減(率)
機能樹脂	197	255	58	29%
炭素製品	41	45	4	9%
クレハ単体 計	239	300	61	26%
連結子会社 計	243	310	67	28%
連結売上消去	-148	-195	-47	
連結売上収益	334	415	81	24%
連結営業利益	1	23	22	-

[当初計画:売上収益410億円 営業利益30億円]

<前期比> 増収·増益

機能樹脂

LiB用バインダー向けのPVDF、自動車向けを中心としたPPSが増収・増益、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGAが増収・増益(損失縮小)となり、合わせて増収・増益。

炭素製品

採算改善策の継続と成形断熱材の伸びにより増収・増益(黒字化)。

<当初計画比> 売上 営業利益 ▼

- ・PGAは既存の販売ルートは伸びるも、米国 新会社での販売立ち上げが遅れたことで、 計画未達。
- ・PPS、炭素製品は旺盛な需要に対応し、 上ぶれ。



【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 予想	増減(率)
農薬	72	90	18	25%
医薬品	56	43	-13	-23%
工業薬品	88	92	5	5%
クレハ単体 計	215	225	10	4%
連結子会社	69	70	1	2%
連結売上消去	-25	-25	0	
連結売上収益	259	270	11	4%
連結営業利益	25	31	6	22%

<前期比> 増収·増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤は、在庫調整が一巡し、増収・増益。

医薬品

後発医薬品伸長の影響から、減収・減益。

工業薬品

値上げ等による採算改善で、増収・増益。

<当初計画比> 売上 ↑ 営業利益 ↑

・円安による農薬の増益と工業薬品の採算 改善により、上ぶれ。

[当初計画:売上収益265億円 営業利益26億円]



【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

(単位:億円)

			(—1-2	• 1/0/1 J
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 予想	増減(率)
家庭用品	195	209	14	7%
業務用包材	70	61	-9	-12%
クレハ単体 計	265	270	5	2%
業務用包材(海外)	111	128	18	16%
合成繊維	37	41	4	10%
その他	69	75	6	9%
連結子会社 計	216	244	28	13%
連結売上消去	-54	-69	-15	
連結売上収益	428	450	22	5%
連結営業利益	50	55	5	10%

<前期比> 増収·増益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣り糸「シーガー」ともに増収・増益。

業務用包材

中国向けコンパウンドの売上がなくなるも、熱 収縮多層フィルムの販売が増加し、増収・増 益。

<当初計画比> 売上 営業利益 ↑

・家庭用品および合成繊維の好調により、上ぶれ。

[当初計画:売上収益430億円 営業利益41億円]



【建設・その他】 セグメント別 売上収益・営業利益

【建設関連】			(単位	: 億円)
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 予想	増減(率)
建設関連事業	212	220	8	4%
連結売上消去	-72	-70	2	_
連結売上収益	139	150	11	8%
連結営業利益	10	6	-4	-42%

[当初計画:売上収益145億円 営業利益6億円]

【その他関連】

『7井=几日日\击】

	環境事業	102	106	4	4%
	運輸·倉庫事業	85	83	-2	-2%
	病院事業	36	36	0	0%
	その他	18	17	-1	-4%
	連結子会社 計	241	242	1	0%
	連結売上消去	-78	-77	1	
連結売上収益		163	165	2	1%
連結営業利益		17	15	-2	-13%

[当初計画:売上収益170億円 営業利益12億円]

【建設関連】

<前期比> 増収·減益

民間および公共工事は増加するも、工賃、資材費の上昇を見込み、増収・減益。

<当初計画比> 売上 ↑ 営業利益 → 売上は微増、利益は計画どおり。

【その他関連】

<前期比> 増収·減益

産業廃棄物処理事業は拡大するも、競争激化により、増収・減益。

<当初計画比> 売上 → 営業利益 👚

運輸・倉庫事業の売上が減少するも、災害廃棄物処理の増加により、上ぶれ。

主要指標予想

							(+1	
	2017年3月期			2018年3月期				
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	増減額	(率)
	実績	実績	実績	実績	予想	予想		
設備投資額		55	103	40	85	125	22	(21%)
減価償却実施額		51	102	49	51	100	-2	(-2%)
研究開発費		25	47	23	30	53	6	(13%)
有利子負債残高		710	710	560	541	541	-169	(-24%)
期中平均	105.2	111.5	108.3	111.0	110.0	110.5		
期末	101.1	112.2	112.2	112.7	110.0	110.0		
期中平均	118.0	119.5	118.7	126.3	125.0	125.7		
期末	113.4	119.8	119.8	132.9	125.0	125.0		
抽中亚均	15 0	16.3	16 1	16 /	16.0	16.2		
期末	15.1	16.3	16.3	17.0	16.0	16.0		
	期末 期中平均 期末 期中平均	上期 実績485122778期中平均 期末105.2 101.1期中平均 期末118.0 113.4期中平均 期末15.9	上期 実績下期 実績485551512225778710期中平均 期末105.2 101.1111.5 112.2期中平均 期末118.0 113.4119.5 119.8期中平均 期末15.916.3	上期 実績下期 実績年間 実績48551035151102222547778710710期中平均 期末105.2 101.1111.5 112.2108.3 112.2期中平均 期末118.0 113.4119.5 119.8118.7 119.8期中平均 期末15.916.316.1	上期 実績下期 実績年間 実績上期 実績48551034051511024922254723778710710560期中平均 期末105.2 101.1111.5 112.2108.3 112.2111.0 112.2期中平均 期末118.0 113.4119.5 119.8118.7 119.8126.3 132.9期中平均15.916.316.116.4	上期 実績下期 実績年間 実績上期 実績下期 天規 実績48551034085515110249512225472330778710710560541期中平均 期末105.2 101.1111.5 112.2108.3 112.2111.0 112.2110.0 112.2期中平均 期末118.0 113.4119.5 119.8118.7 119.8126.3 132.9125.0 125.0期中平均 期末15.916.316.116.416.0	上期 実績下期 実績年間 実績上期 実績下期 予想4855103408512551511024951100222547233053778710710560541541期中平均 期末105.2 101.1111.5 112.2108.3 112.2111.0 112.2110.0 112.2110.0 112.2期中平均 期末118.0 113.4119.5 119.8126.3 119.8125.0 125.0125.7 125.0期中平均15.916.316.116.416.016.2	日本学学 118.0 119.5 118.7 113.4 119.8 119.8 125.0 125

キャッシュフロー

	2017年 3月期	2018年 3月期	増減
税引前利益	90	120	30
減価償却費および償却費	102	100	-2
その他	-68	-53	15
営業キャッシュフロー	124	167	44
投資キャッシュフロー	-11	-126	-116
財務キャッシュフロー	-117	-42	76
現金及び現金同等物に係る換算差額	-0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-5	-1	4
現金及び現金同等物の期首残高	67	62	-5
現金及び現金同等物の期末残高	62	62	-1

/ / / / / /	/ ** \
(単んさ	億円)

		17年3月期2Q		18年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ		286	1,883	323	1,911	38	29
(株)クレハ	トレーディング・グループ2社	77	122	86	139	9	17
機能製品	(株)クレハ	112	-	141	-	29	-
	(株)クレハトレーディング・グループ 2 社	41	-	53	-	11	-
	クレハエクストロン(株)	8	19	9	20	1	1
	クレハエクステック(株)	12	17	11	16	-1	-2
	㈱クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン・グループ	-	2	-	-	-	-2
	Kureha GmbH	7	10	9	7	2	-3
	Kureha America Inc.・グループ5社	29	244	33	287	4	43
	呉羽(上海)炭繊維材料有限公司	7	20	4	16	-2	-3
	呉羽(中国)投資有限公司・グループ2社	19	126	22	112	3	-13
	連結調整	-88	-	-83	-	4	-
	計	147	-	198	-	51	-
化学製品	(株)クレハ	93	-	110	-	17	-
	(株)クレハトレーディング	32	-	30	-	-2	-
	連結調整	-13	-	-14	-	-0	-
	計	112	-	126	-	14	-
樹脂製品	㈱クレハ	137	-	137	-	1	-
	㈱カレハトレーディング	23	-	25	-	2	-
	クレハ合繊㈱	18	34	22	46	4	11
	呉羽(中国)投資有限公司・グループ2社	2	-	1	-	-1	-
	Kureha America Inc.・グループ5社	9	7	9	8	-0	1
	欧州食品包材・グループ3社	39	56	42	75	4	19
	クレハベトナム	14	36	17	38	3	2
	連結調整	-31		-30		1	-
	計	210	-	222	-	12	-

		17年3月	月期2Q	18年3月期2Q		増減	
			総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ錦建設㈱・グループ4社	78	97	94	109	16	12
	(株)クレハエンジニアリング	19	26	10	23	-8	-3
	連結調整	-37	-	-32	-	6	-
	計	59	-	72	-	13	-
その他	㈱クレハ環境	38	83	40	80	2	-3
	㈱クレハ分析センター	6	5	6	5	1	0
	クレ八運輸㈱・グループ2社	42	62	41	59	-1	-3
	(株)クレハトレーディング	0	-	0	-	-0	-
	クレハサービス(株)	3	9	3	10	-0	0
	社団医療法人呉羽会	18	38	18	35	-0	-3
	クレハスタッフサービス(株)	6	7	6	6	0	-0
	連結調整	-38	-	-39	-	-1	-
計		75	-	76	-	1	-
	連結合計		-	695	-	93	-
(連結対象子会社+持分法適用会社数)		(41)		(32)			

本資料取り扱い上のご注意

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ◆ 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。